

W I N G E S S A Y

DENTAL WING Co.,LTD

—2016年 4月号—

☆早朝の空気は、季節の移ろいを感じさせてくれます。張りつめた冷たい空気が緩み始め、春の香りをうっすらと運んで来るようになりました。冷たい寒さに耐えた草木は、一斉に待ってましたとばかりに喜んで葉をつけ、花をつけ私たちの目を楽しませてくれます。短い生涯を、何も言わずただひたすら生きて生き抜いて、命を終えるそんな草花に、そっと心を寄せるのもいい季節になりました。そこで、二宮尊徳翁の一句を。

「音もなく香もなく常に天地(あめつち)は書かざる経をくりかへしつつ」 いい詩ですね。

☆間もなく4月。新年度、新学期が始まります。真新しい制服やスーツを身に纏い、希望に満ちた凛々しい姿はいいものですね。これから、色々な経験を重ねながら成長されるのですが、その場の先輩諸氏にも育てる責務が生じます。リーダーであろうとなかろうと、みんなで育てようとする心が一番大切です。目配り・気配り・心配り、大切にしていきたいものです。私たちは、ただその場に存在しているだけなのか、それともきちんと成長を続けているのか、これは大きな違いです。

古代インドの神話ですが、何千年も前のこと。地上を歩いている人はすべて神であると信じられていたそうです。でも、人間がその神の無限の力を悪用したそうで、怒った最高神は、その無限の力を誰にも見つけられないように隠すことにしたそうです。そこで問題はどこに隠すか……。最初の通告者は、地中深くに埋めることを提案しますが、最高神は、いずれ誰かが掘って探すだろうと受け入れません。次の忠告者は、一番深い海に沈めてはどうかと提案しますが、これもいずれ誰かが潜って見つけるだろうと最高神は受け入れません。

3番目の忠告者は、では一番高い山はどうでしょうと提案するも、いずれ誰かが上って見つけるだろうと拒否されてしまいます。しばらく考えられた最高神は、ついに決められました。

「すべての人間の力、可能性、目的の源を、地球上にいるあらゆる男女、子どもの心のなかにしまおう。

なぜなら、決してそこを彼らは探そうとしないから。」

そう、才能は私たち一人ひとりの中に隠されているんですね。自分の能力を最初から否定し、あれはできない、これもできないと、出来ない理由を先に並べることをよく見聞きますが、やってみないとわからない、動いてみないとわからない、続けてみないとわからない。世の天才や偉人と言われる方は、みんな自分の才能に磨きをかけてきたのは共通の事実です。どんなに挫折を繰り返しても、諦めなかった事実があります。

いくつになっても、遅くはありません。やりたいことを、やる。少しでも前に進んでみる。山の麓にいながら、ああでもない、こうでもないと繰り返すより、1合目、2合目と進んでその風景を楽しめばいい。しんどければ休憩すればいい。そしてまだ進めばいい。お互い私という一つの花を咲かせましょうね。

桜咲く季節、愉しましょう！

